

いきいき広場

浅利久美子 さん

「おはよう、いらっしゃい」いつも元気な浅利久美子さん（西木町長戸呂）を訪ねました。

昭和30年から酒店を営む重富美さん（2代目）に嫁いで31年目と話す久美子さん。

10年ほど前、上野の産直で初めて「栗の渋皮煮」を販売したことがきっかけで、今では年間2カ月もの間、関東近郊のイベント・産直に参加しているという。地場産にこだわりの、四季折々に仙北市内の様々な山菜、野菜、加工品などを販売している。酒店の横に



■浅利久美子さん（秋田どんぐり村合同会社 西木町長戸呂）「栗の渋皮煮」など地場産にこだわった加工品をはじめ、山菜・野菜などを首都圏に販売している。

は加工施設もあり、この時期は夫婦でクルミの選別作業などを行っている。

3年前には、多くの旬のもの、地元の旨いものを提供したいと「秋田どんぐり村合同会社」を設立した。

今後の目標については「適正価格で販売してくれる店舗を増やしたい」と笑顔で話してくれました。

（武藤義彦 記）

控室

500歳野球チームの決断

新元号「令和」がスタートしました。昭和生まれの私は、昭和が遠くなっていく寂しさがあります。昭和から平成に変わる時の「自粛」ムードとは違い、令和は讓位という

お祝いムードがあり、明るく前向きな新時代到来の気配を感じさせます。

さて、3月定例会で旧角館東小学校野球場を企業用地として貸し出すための条例の一部改正が審議され、可決されました。

当初は、野球場を使用していた仙北市内の500歳野球8チームは、使用継続を求めて、市長及び議長あてに要望書を提出して反対しておりま

編集後記

議会開会日、16ページの紙面の担当を決めます。表紙と一般質問者写真は真崎委員。題材選びとシャッターチャンスが難しいようです。

一般質問と答弁で一時間に及ぶ内容を約千字程度にまとめる作業は、質問者の思いや市民の皆さんに内容が伝わるかどうか担当委員の悩むところでもあります。委員会報告は所属議員がまとめます。

会期中に、新角館庁舎入札

不調の情報が入り、「スタート悪いとどこまでも」とつぶやきが聞こえました。

10月から2%上がる消費税が影響しています。「増税中止しかないな」とささやきも最終日には、神代小松地区にある「セレクトラ」が、河川から離れた角館東公民館グラ

ウンドに工場の一部を移転し経営規模拡大を図りたい旨の要望があり、地域利用者の理解のもと、普通財産に移すことになりました。地元企業応援も自治体の役目ではないでしょうか。

（平岡裕子記）

新会派結成

会派名 市民クラブ

- （代 表） 稲 田 修
- （副 代 表） 伊 藤 邦 彦
- （幹 事 長） 阿 部 則 比 古
- （副 幹 事 長） 荒 木 田 俊 一
- （経 理 責 任 者） 小 木 田 隆

した。しかし、3回に渉る話し合いを経て、野球場への工場建設により、雇用の確保・拡大などが図れることは、仙北市にとって有益であるとの思いから、協力する決断に至った経緯があります。

（高橋輝彦記）